

「第6回宇佐川オオサンショウウオ対策検討委員会」の結果について

1 概要

当委員会は、宇佐川流域で実施する砂防事業（宇佐川砂防堰堤に堆積した土砂の除去）について、オオサンショウウオまたはオオサンショウウオ生息環境への事業の影響や必要な対策を検討することを目的として、平成26年度に設置したものです。

このたび、砂防事業の完了に伴い、これまで実施してきた対策の効果を検証するため、開催したものです。

2 内容と結果

(1) 報告

ア 砂防事業の完了について

令和4年2月をもって、全ての工事（堰堤に堆積した土砂の除去、生息環境の復元）を完了した。

イ 一時保護個体の放流完了について

令和3年3月をもって、砂防事業に伴い一時保護したオオサンショウウオについて、全個体の放流を完了した。

(2) 議題及び結果

ア 放流した幼体のモニタリング結果について

- ・ 肥満度の増加が著しい個体も確認されており、比較的順調に生育していると考えられる。
- ・ 復元した生息環境において、遡上する個体や自然繁殖巣穴が確認され、対策の有効性が確認された。
- ・ 再捕獲個体の移動距離が比較的短いことから、良好な生育環境や出水時でもとどまることが可能な隠れ場が存在していると考えられる。

イ 放流した成体のモニタリング結果について

- ・ 再捕獲個体の肥満度は、概ね前回確認時と近い値であることから、放流地の生息環境は比較的良好であると考えられる。
- ・ 一時保護個体と現地確認個体で肥満度の経年変化に大きな差は見られないことから、一時保護に伴う放流後の生育（肥満度）への影響は小さいと考えられる。
- ・ 再捕獲個体の過半数が放流位置から比較的近傍に生息していることから、良好な生育環境や出水時でもとどまることが可能な隠れ場が存在していると考えられる。

ウ 宇佐川オオサンショウウオ対策検討委員会の終了について

オオサンショウウオを一時保護するという類例のない取組を行うなど、事業影響の低減に努めることができ、当委員会の目的を達成することができた。

これまでの報告により、当委員会の対象である砂防事業が完了したので、当委員会を解散する。